

令和8年度

愛媛大学医学部看護学科

学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅰ試験問題

小論文

(9:00~11:00)

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- (3) すべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- (4) 解答は、すべて解答用紙の指定のところに記入しなさい。
- (5) 問題冊子の余白は下書きにしてよい。
- (6) 解答用紙はすべて机の上に出しておくこと。机の中に入れてはいけません。

問題1. 次の文章を読み, 設問に答えなさい。

著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

<中略>

(参考)

人生論ノート：三木清著 新潮社発行 (1954年)

性格の心理学：アドラー著 岸見一郎訳 アルテ発行 (2009年)

子どものライフスタイル：アドラー著 岸見一郎訳 アルテ発行 (2021年)

Adler Speaks : The Lecture of Alfred Adler ; Adler 著 Stone 編 iUniverse Inc.発行 (2004年)

Man for Himself : Fromm, Erich 著 Open Road Media 発行 (2013年)

出典 : 岸見一郎 妬^{ねた}まずに生きる 祥伝社 2025年. より抜粋, 一部改変

問1. 下線部(1)のように述べる理由を要約し, 100字以内で答えなさい。

問2. 下線部(2)について述べた次の文章の(A)～(D)にあてはまる適切な語句を, 本文から抜き出して答えなさい。なお, 同一語句の重複使用は認められません。

対人関係に入っていく勇気を持つためには, 自分が生きていることがそれだけで価値があるという(A)を基盤とする必要がある。(A)は(B)とも呼ばれ, かけがえのない自分らしさ, すなわち(C)を認めることで確信できるものである。これに対し, 対人関係にはいっていきのをためらう人は, 他者との比較や時間の経過によって変化する(D)にとらわれているのである。

問3. 下線部(3)に該当するものを次の①～⑤からすべて選び, 番号で答えなさい。

- ① 資格
- ② 家柄
- ③ 収入
- ④ 運動能力
- ⑤ 人生観

問4. 下線部(4)のそれぞれの人にとっての与えることの意味について, 本文をもとに130字以内で答えなさい。

問5. 本文における仲間意識の重要性について, 筆者の意見を明確にしたうえで, 自分の意見を800字以内で論じなさい。

小論文の試験問題は次のページに続きます。

問題2. 以下の英文の内容をふまえ、看護職者として求められる高齢者への接し方について、自身の体験に基づきあなたの考えを日本語で論じなさい (800字以内)。

<前略>

著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

<後略>

注釈：

person-centred：アメリカ英語表記では person-centered

intrinsic capacity：内在的能力

WHO：World Health Organization の略

PHC：Primary health care の略。基本的な医療を提供し、健康の維持・増進を目指す包括的なアプローチ

determinant：要因

behaviour：アメリカ英語表記では behavior

ableism：障害者差別

patronizing：恩着せがましい

exclusion：除外

出典：World Health Organization. (2024). Integrated care for older people handbook: Guidance for person-centred assessment and pathways in primary care, Second edition p2-3.より抜粋，一部改変